

当社保有特許の価値評価

○特許価値評価の算定結果（35 頁）

様々な創意工夫や研究・開発に取り組んだ成果は、主にコスト低減等の経営効率化という形で効果を発揮します。そのため、実際に特許技術が関係している主な施策の累計金額を算定し、その効率化額を特許の価値として評価しています。

特許が関係した効率化額で見ると 2011 年度は 322 億円となっています。

特許出願の効果：特許価値評価

※A: 対象企業との事業規模比

評価年度	施策件数	特許が関係した効率化額	特許の定量的評価額 (α)	他社技術導入 原資獲得額 ($\alpha \times A$)
2011年度(①)	113件	322億円	135億円	(135億円 \times A)
2010年度(②)	113件	298億円	117億円	(117億円 \times A)
(①-②)	±0件	24億円	18億円	—

◇「特許が関係した効率化額」

新技術の特許出願していることにより事業自由度を確保できている金額効果であり、2011年度は322億円となっています。

◇「特許の定量的評価額」

「特許が関係した効率化額」に特許の強さ等を加味して算定しています。これは、新技術が特許で担保されていることにより当社のみが享受できている金額効果であり、2011年度は135億円となっています。

なお、特許の強さ等の評価項目は、2000年に特許庁が公表した「特許評価指標（技術移転版）」をベースにしています。

◇「他社技術導入原資獲得額」

「特許の定量的評価額」に相手先企業との事業規模比を乗じたもので、クロスライセンスによって相手先企業から技術導入できる金額（2011年度は135億円 \times A）を示しています。